<table>
<tr><td>授業科目名：
総合的な学習の時間の
指導（中等）</td><td>教員の免許状取得のための
必修科目</td><td>単位数：
１単位</td><td>担当教員名：高橋正尚
担当形態：単独</td></tr>
<tr><td>実務内容
（実務家教員の場合）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>科　目</td><td colspan="3">道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目</td></tr>
<tr><td>施行規則に定める
科目区分又は事項等</td><td colspan="3">総合的な学習の時間の指導法</td></tr>
<tr><td colspan="4">「学位授与の方針」との関係
A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を超えて統合しようとする意志を持つこと。
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の到達目標及びテーマ
（１）「総合的な学習の時間」における横断的・総合的な学習や、生徒の興味・関心などに基づく学修など、総意工夫をした教育活動の展開に必要な基礎知識を学修する。
（２）「総合的な学習の時間」の展開に必要な指導を実践する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
「総合的な学習の時間」の学習指導及び今回の改訂の基本的な考え方である『探求的な学習過程を一層重視し、各教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活において活用できるものにする』という視点を踏まえた指導方法を学修する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画
第１回：「総合的な学習の時間」の目標と内容
第２回： 各学校で定める「総合的な学習の時間」の目標及び内容
第３回：「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習活動
第４回：「総合的な学習の時間」の探究の過程
第５回： 指導計画の作成と内容の取り扱い
第６回：「総合的な学習の時間」の指導計画の作成
第７回： 指導計画作成の事例検討　「校長はこんなカリキュラムを作成した」</td></tr>
</table>

第８回：「総合的な学習の時間」の学習指導（探究の過程、目標を実現するにふさわしい探究課題について,探究課題の具体例）

第９回：　事例検討『成功事例に学ぶカリキュラム・マネジメントの進め方』序章、第1章、第5章

第１０回：「総合的な学習の時間」で育成を目指す資質・能力

第１１回：新学習指導要領のキーワード

第１２回：「総合的な学習の時間」の概要、事例の成果・課題の検討

第１３回：「総合的な学習の時間」の事例の分析（グループワーク→個人検討→結果を記述する）

第１４回：「総合的な学習の時間」を充実させる体制づくり

第１５回：「総合的な学習の時間」の教育課程の作成
（教育課程→1年間、3年間、1つの探究課題等のいずれか一つを選択）
（科目修得試験　レポート方式）

＊スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

＊　スクーリングでは第10回～第13回を実施する。

教科書

（１）文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総合的な学習の時間編』

（２）高橋正尚　小藤俊樹　『成功事例に学ぶ　カリキュラム・マネジメントの進め方』
教育開発研究所

（３）文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　総合的な探究の時間編』

（４）総合的な学習の時間の指導テキスト
※学生ポータルサイトからダウンロードしてください。

参考文献

原　清治　監修　『総合的な学習の時間（新しい教職教育講座 教職教育編）』
ミネルヴァ書房　2018 年

学生に対する評価

レポート（25%）、スクーリング（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する